

Press Release



BASF、上海の中間体テクニカル・コンピテンス・センターを拡充

2010年4月20日

- アジア太平洋地域向けエポキシシステムのアプリケーションエンジニアリングを強化
- PolyTHF (ポリテトラヒドロフラン)に関するテクニカルサービスを拡充

お問い合わせ：
BASF ジャパン株式会社
長田 奈津子 / 大倉 真紀
TEL: 03-3796-4864 / 4865
FAX: 03-3796-4111
natsuko.osada@basf.com
maki.okura@basf.com

BASF(本社:ドイツ、ルートヴィヒスハーフェン)はこのほど、中国・上海の浦東に有する中間体のテクニカル・コンピテンス・センター内に、風力発電ブレード(回転翼)などに使用される繊維強化コンポジット向けのエポキシシステムを専門に取り扱うラボを新設しました。

BASFは、「Baxxodur[®](バクストア)」のブランド名でエポキシシステムを販売しています。今回のエポキシシステムのラボ(以下エポキシラボ)の新設にあたり、既存のPolyTHFラボについてもサービス範囲を拡大し、2つのラボを統合することでコンピテンスセンターとしての機能を高めます。

BASF 中間体事業本部・アジア太平洋地域を統括するグイド・ヴォイトは、次のように述べています。「地域に根ざしたコンピテンスセンターを置くことにより、アジア地域のお客様のニーズにあった信頼性の高いテクニカルサポートをより迅速に提供してまいります。BASF が世界に展開するナレッジネットワークの活用により、アジア地域のお客様により多くのメリットを提供いたします」。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21階
TEL: 03-3796-4865
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.basf.com>

お客様にメリットの多い Baxxodur のエポキシシステム

新設のエポキシラボでは、Baxxodur のエポキシシステムを使用するお客様の製造プロセスを実際の製造条件でシミュレーションすることができます。そして、BASF のアプリケーションエンジニアがお客様に合わせたソリューションを開発し、製造現場におけるテクニカルサポートも提供します。

風力発電ブレードは、現在、ほとんどがエポキシ樹脂のコンポジットで作られています。BASF の Baxxodur エポキシシステムはブレードの製造時間を短縮できるため、ブレードメーカーにおける生産性の向上に貢献します。また、スパークアップやブレードのルートセクションなどの重要部品を高品質に製造するために必要な特性も備えています。特に大型ブレードの製造においては、従来のエポキシシステムを大きく上回る性能を発揮します。BASF のエポキシシステムは、海運業界やエネルギー業界に対する保証、コンサルティング、格付けなどを行う GL (Germanischer Lloyd) の認証も取得しています。

PolyTHF ラボはサービス範囲を拡充

拡充した BASF テクニカル・コンピテンス・センターでは、さまざまなポリマー合成設備を活用することで、フォーミュレーションのカスタマイズや既存フォーミュレーションの改良、機械的特性や熱的特性の調整をし、PolyTHF ベースの製品を特定のアプリケーション向けに最適化することができます。顧客プラントの立ち上げを支援するラボサポートやサンプル、試験片の分析なども提供しています。

PolyTHF は、スポーツウェアや水着、インナー、アウターなどの布地に用いられる弾性スパンデックス繊維の製造に不可欠な原材料であり、熱可塑性ポリウレタン (TPU) エラストマーの製造にとっても欠かせない中間体です。TPU は、自動車業界で使用される、耐摩耗性の高さと柔軟性を合わせたケーブル被覆や、インライン・スケートの高品質ホイールの製造などに用いられます。PolyTHF は、

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21階
TEL: 03-3796-4865
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.basf.com>

また、靴底や時計のストラップなどに使われるポリエーテルアミドにも使われています。このほか、さまざまな自動車用部品の製造に用いられるポリエーテルエステルエラストマー(TPEE)や、コンベヤーベルト、スキーブーツのシェルなどに使用されるキャストエラストマーの原材料になっています。

■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は、「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標榜する世界の化学業界のリーディングカンパニーです。製品ラインは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、ファインケミカル製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASFは信頼に応えるパートナー企業として、化学を通じあらゆる産業のお客様のさらなる成功を支援しています。また、高付加価値製品と高度なソリューションの提供により、気候保全やエネルギー効率の向上、栄養、交通・運搬環境の改善といった世界的な課題の解決に重要な役割を果たしています。2009年の売上は500億ユーロを上回り、従業員数は約10万5,000人です。BASFの詳しい情報は、www.basf.com(英語)をご覧ください。

■日本のBASFについて

BASFは日本では1888年に事業を開始いたしました。国内では、BASF ジャパンと6社の関連会社で構成されています。事業活動は、化学品、プラスチック、機能性化学品、高機能製品、農業関連製品の5分野です。主要生産拠点は三重県四日市市(熱可塑性ポリウレタン、ポリマーディスパージョン)と、神奈川県茅ヶ崎市(コンクリート混和材、建設化学品)と横浜市戸塚区(塗料)です。「グレーター名古屋テクニカルセンター」(三重県四日市市)内には、製紙薬品、顔料、機能性ポリマー(ディスパージョン)、エンジニアリングプラスチック、および燃料電池向けの応用研究所があり、日本とアジア市場のお客様をサポートしています。尼崎研究開発センターでは、日本のお客様へのテクニカルサービスと、さらに先端技術産業のテクノロジーリーダーに近いという地理的利点を活かし、エレクトロニクス分野に特化した研究開発を行っています。特に「ディスプレイ」、「エナジーマネージメント」、「マイクロエレクトロニクス」の分野にフォーカスし、日本発のイノベーションで、グローバルな製品の開発を目指しています。2009年のBASFの日本での売上げは1,570億円(12億ユーロ)、従業員数は1,600人です。BASF ジャパンの詳しい情報は、www.japan.basf.com をご覧ください。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21階
TEL: 03-3796-4865
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.basf.com>